

令和7年度第1回旭市子ども・子育て会議 書面議決書

令和7年11月30日

旭市子ども・子育て会議条例第3条の規定により、議題は承認されましたので、
報告いたします。

【議題】

第2期子ども・子育て支援事業計画進捗状況及び評価結果について

1 書面議決提出期限 令和7年11月28日

2 委員数 15名

3 回答数 12名

4 意見の有無 有り： 2名
無し： 10名

5 意見内容及び意見に対する対応

番号	意見内容	対応
1	資料1_P2_6 一時預かり事業の充実 資料2_P13_No.19 一時預かり事業【幼稚園型／幼稚園型以外】 資料1の事業内容に私立認定こども園1か所で実施とあるが、実施内容には私立認定こども園が3か所、私立幼稚園1か所と記載がある。実施施設が増えたのか。資料2の実施内容では私立認定こども園は1か所しか記載がなかった。	資料1の実施内容には補助金交付の有無に関わらず事業を実施している施設数を掲載しております。また、資料2の実施内容には補助金を交付している施設数を掲載しております。
2	資料1_P4_14 保育（通常保育）の充実 実施内容欄に“気になる子ども”とあるが、これは発達面が気になる子どもということか。	ここでいう“気になる子ども”とは、“発達障がい傾向のある児童やそれ以外の障がいを持つ児童、アレルギー等のある児童”という意味で記載しております。
3	資料2_P13_No.18 ファミリー・サポート・センター事業 利用者から大変助けられているという声が多く聞かれている。利用者が増えると問題点も多くなるかもしれないが、克服して更に充実させてほしい。	利用者の増加に伴い生じる課題については、提供会員の確保・育成やコーディネート体制の強化、安全対策の充実など、必要な改善に引き続き取り組んでまいります。 今後も、安心して利用できるよう、事業の充実を図ってまいります。

4	<p>資料 2_P10_No.13 地域子育て支援拠点事業</p> <p>私立保育園等で行っている地域子育て支援拠点事業は、工夫を凝らしたイベントを計画しても、過疎地であるため利用者が少ないという悩みがある。市で運営している子育て支援センター「ハニカム」の充実や、コロナ禍後であることが影響している。私立間で連携し、イベント情報を共有するなど利用者にお知らせする方法を強化とともに、市を含めた、より前向きな議論が交わされると良い。</p>	<p>地域子育て支援拠点事業の利用者数の伸び悩みや、コロナ禍後の状況についてのご意見ありがとうございます。</p> <p>市の子育て支援センター「ハニカム」では市内事業実施施設でのイベント情報を掲示しているほか、ホームページにも実施施設の情報を掲載し、わかりやすく周知するよう努めています。</p> <p>また、市といたしましても話し合いの場を設けることで、地域の状況に即した支援の充実に向けた取組が進むものと考えており、子ども・子育て会議の重要性を再認識しているところです。</p> <p>今後とも、地域の子育て家庭に寄り添った支援体制の強化に努めてまいります。</p>
---	--	--

※一部表記等を変更して記載しています。